

住人十色

第
109
回



◎自慢のほだ場に案内してくれた宮岡さん。緩やかな斜面にほだ木が整然と並べられていた

いい仲間に恵まれて「農林水産大臣賞」 シイタケ産業に貢献して恩返ししたい

宮岡 ^{まさひろ} 正博さん (63) = 下立山 =

「第60回愛媛県しいたけ共進会」の表彰式が5月24日、松山市で開かれ、宮岡正博さんが「ほだ木育成の部」で農林水産大臣賞を受賞しました。

宮岡さんは退職してからシイタケの生産を始め、今年で13年目。「どうせするなら、いい物を長く作りたい」と栽培設備などの整備に力を入れています。シイタケを育てる「ほだ場」は、暗過ぎてても明る過ぎててもよくないので場所が大切。負担を軽減するために、「原木の搬入」や「収穫から乾燥までの動線」も工夫が必要です。宮岡さんは「先輩や指導員に教わりながら、上手な栽培方法や効率的な作業の仕方を実践したことが、評価につながった。受賞はいい仲間に恵まれたおかげ」と感謝します。

「シイタケは水や風を考えて作るもの」と言う宮岡さん。「農薬や肥料がいらないので、健康的で安心・安全な食品。木を使うことで山や水もきれいになる。その上、おいしいと食べてもらえる」と仕事のやりがいを語ります。「時代に合ったシイタケ栽培をして、重労働というイメージを変えれば、生産者の減少に歯止めが掛かると思う。今回の受賞を機に、もう一つ上を目指して頑張って、シイタケ産業に貢献したい」と意欲的でした。

編集 幸記

▽全国広報コンクールの表彰式が6月1日、新潟市で開かれ、出席しました。受賞後の事例発表など貴重な経験をさせていただきました。全国の広報担当者が憧れる「銀杯」と表彰状を内子分庁に飾っていますので、ぜひ見に来てください(裕)

▽ありがたいことに、NHK番組「ひめポン」で広報うちこが紹介されます。主役は「内子町役場で最もテレビ映える男」こと、私(航)です。密着取材の様子は、7月11日放送予定です。ぜひご覧ください(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

